

《介護フォーラム》 あなたの介護体験を社会の共有財産に

コロナ禍と 「私の介護」

日時: 11月27日(日) 13:30~15:30

会場: ①立命館大学(人数に制限あり)

衣笠キャンパス創思館3階

②オンライン参加(希望者にはZoom情報を
お知らせします。お申し込みください)

内容: 「コロナ禍と『私の介護』」を語る

《発題者》 森 寛昭さん(香川県)

田中 賢司さん(京都市)

小林 茂さん(京都市)

進行: 津止正敏(男性介護ネット事務局長)

《介護フォーラム》開催趣旨

男性介護者と支援者の全国ネットワーク(男性介護ネット)では、現在、この12月末を締切に「コロナ禍と『私の介護』」をテーマとした介護体験記の募集事業に取り組んでいます(下記新聞記事参照)。

この度、体験記募集事業の一環として、左記の介護フォーラムを開催する運びとなりました。オンラインと会場参加の併用で実施します。

「コロナ禍は私たちの介護にどのように影響したのか。社会に必要な介護資源の備えとはどのようなものか。みなさんと一緒に考えたい。」

発題者からの問題提起を受けて、実態を共有しながら問題解決の道を探りたいと思います。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

男性介護ネット

代表 森 寛昭

申込・連絡先: 男性介護ネット事務局。(会場参加がオーバーしたらオンラインにてお願いします)

★裏面申込書にて、「会場参加」又は「オンライン参加」を明示しお申し込みください。

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学人間科学研究所気付

mail: info@dansei-kaigo.jp TEL & fax: 075-466-3306(TELは毎水曜日 1~4時)

HP: <http://dansei-kaigo.jp/>

京都新聞 2022.9.17 朝刊記事→

体験記「コロナ禍と『私の介護』」募集中!

みなさんのご応募をお待ちしております。

コロナ禍 男性の介護体験募る

介護を担う男性を支える「男性介護者と支援者の全国ネットワーク(男性介護ネット)」が、新型コロナウイルス禍の介護の実情を記録しようとして体験談を募集している。

同ネットは、男性介護者の経験を社会の共有財産にしようと2009年から体験記をまとめ、これまでに第6集まで刊行している。今回はテーマを「コ

「全国ネット」実情を記録

「コロナ禍と『私の介護』」に設定。感染防止と在宅ケアの両立が難しい中、男性介護者が日常的に抱える苦悩や必要な支援策などを探る手がかりにしたいとしている。

対象はコロナ禍での介護経験がある男性。つらいことや励まされたこと、各種要望などを手記

や随筆、短歌、川柳などさまざまな形式で受け付ける。作品は2千字程度までとする。

応募期間は12月31日まで。宛先は〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1 立命館大学人間科学研究所気付で、メールでも受け付ける。募集要綱など詳細は男性介護ネットのホームページで紹介している。

(山本旭洋)

手記や短歌… 日常の苦悩や支援策など

介護フォーラム参加申込書

本状にて、Fax または mail でお申し込みください。

Fax:075-466-3306 mail:info@dansei-kaigo.jp

氏名	
住所	〒
TEL	
Mail	
参加 の形態 ○で選択	①会場参加() ②オンライン参加()
連絡 質問 近況報告 等々	